

日本商業学会 第12回全国研究報告会プログラム

統一論題：マーケティングの過去、現在、未来

開催日時 2022年12月18日（日） 10:00～16:50

会場 武庫川女子大学・中央キャンパス（兵庫県西宮市池開町6-46）
【アクセスマップ】 https://www.mukogawa-u.ac.jp/campus/chuo_campus.html

参加費 3,000円（大学院生1,000円）
※非会員の方は大学院生も含め5,000円

参加申込 次の事前参加申込フォームにアクセスし、12月9日(金)16時までにお申込みください。
また、当日お弁当のご用意を希望される方は「お弁当あり（1,300円（お茶付き・税込み）」でお申込みをお願い致します。
申込確定後の変更・キャンセルはお受けできませんのでご注意ください。

※お支払い方法は クレジットカード決済のみ となっておりますのでご了承ください。

※昼食につきまして、近隣に休日営業している飲食店はございませんが、駅前や大学近くにはコンビニエンスストアはございます。

【申込フォーム】 <https://reg-cloud.com/jsmd20221218/Entry/RegTop.aspx>

関東部会代表理事：新倉貴士

プログラム委員：西尾チヅル、柴田典子、水越康介、西原彰宏、高橋千枝子

日本商業学会 第12回全国研究報告会プログラム
2022年12月18日(日)(武庫川女子大学・中央キャンパス)

10:00-10:10 開会の挨拶：日本商業学会会長 恩藏直人（早稲田大学）

<全体セッション 「マーケティングの過去、現在、未来」>
司会：柴田典子（横浜市立大学）
（公江記念館（KM）地下1F大講義室）

10:10-10:55 講演
石原武政（大阪市立大学名誉教授）
「戦時統制下の小売業と国民生活」

10:55-11:40 講演
西原彰宏（亜細亜大学）
「企業と顧客との新たな関係性のあり方と顧客エンゲージメント」

11:40-12:25 講演
水越康介（東京都立大学）
「デジタル世界の広がりマーケティング」

12:25-13:30 お昼休憩

<個別セッションA> (公江記念館 (KM) 503・504)

司会：水越康介 (東京都立大学)

【13:30-14:10】

田頭拓己 (一橋大学)、福川恭子 (一橋大学)、松井剛 (一橋大学)
「ソーシャルメディアにおける炎上の特徴が消費者へ与える影響」

【14:10-14:50】

松井彩子 (武蔵野大学)、原泰史 (神戸大学)、田頭拓己 (一橋大学)
「東京五輪を題材としたイベントの炎上とその波及効果の検討」

【14:50-15:30】

坂田博美 (富山大学)
「行商に特徴的な顧客関係が見られる背景の検討：既存研究レビューに基づいて」

【15:30-16:10】

大内秀二郎 (近畿大学)
「日本の家電産業におけるマーケティングの生成に関する一考察
－1930年代東京電気の電球市販チャネルを中心として－」

【16:10-16:50】

隅田孝 (四天王寺大学)
「関係人口としての大学生が中山間地域において地域活性化支援活動を行う際の課題について」

<個別セッションB> (公江記念館 (KM) 704・705)

司会：西原彰宏 (亜細亜大学)

【13:30-14:10】

和田充夫 (慶應義塾大学名誉教授)、高橋広行 (同志社大学)、西原彰宏 (亜細亜大学)、鈴木和宏 (小樽商科大学)、新倉貴士 (法政大学)、赤松直樹 (明治学院大学)、磯田友里子 (高知大学)、圓丸哲麻 (大阪公立大学)、大山翔平 (CCC マーケティング総合研究所)、財津涼子 (CCC マーケティング総合研究所)

「ライフカルチャー研究の先駆性」

【14:10-14:50】

多田伶 (小樽商科大学)
「消費者状態変化に関する実証的検討」

【14:50-15:30】

安永克康 (専修大学大学院)、渡辺達朗 (専修大学)
「スーパーマーケットのフロント・システムから見たフォーマットの類型化に関する実証研究」

【15:30-16:10】

岡野純司 (愛知学院大学)
「戦後復興期の百貨店における返品制の実態分析」